

地域に豊かな森を育む イオンの植樹活動

地域の自然環境に最も適した樹木を選定し、店舗ごとに植える種類・量を変えることで、さまざまな生き物が集まる豊かな森を育んでいます。科学的調査でも、「イオン ふるさとの森」は地域固有の鳥やチョウなどの生息地・回廊の機能を果たし、生物多様性に貢献していることが評価されています。

いきもの調査

植樹により成長したイオンの森でお客様とともに調査を実施し、1,740種のいきものを確認。



店舗の生物多様性評価



イオンモール・イオンタウンの一部店舗で、「ABINC認証」*を取得。ABINC認証は、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する、生物多様性に配慮した施設の緑地を認証する認証制度です。

※いきもの共生事業所®認証



2024年3月に実施した「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭(そよら鈴鹿白子)

植樹活動に込めた想い

1991年から始まったイオンの植樹活動は、イオンの基本理念を具現化する活動として位置付けられています。基本理念に則り、植樹を通じて環境問題の解決に取り組み、生き生きとした交流の場をさらに広げ、地域に根差した森を育てて地域の人々とともに成長していくことを目指しています。

イオンの基本理念についてはこちら

<https://www.aeon.info/company/concept/>



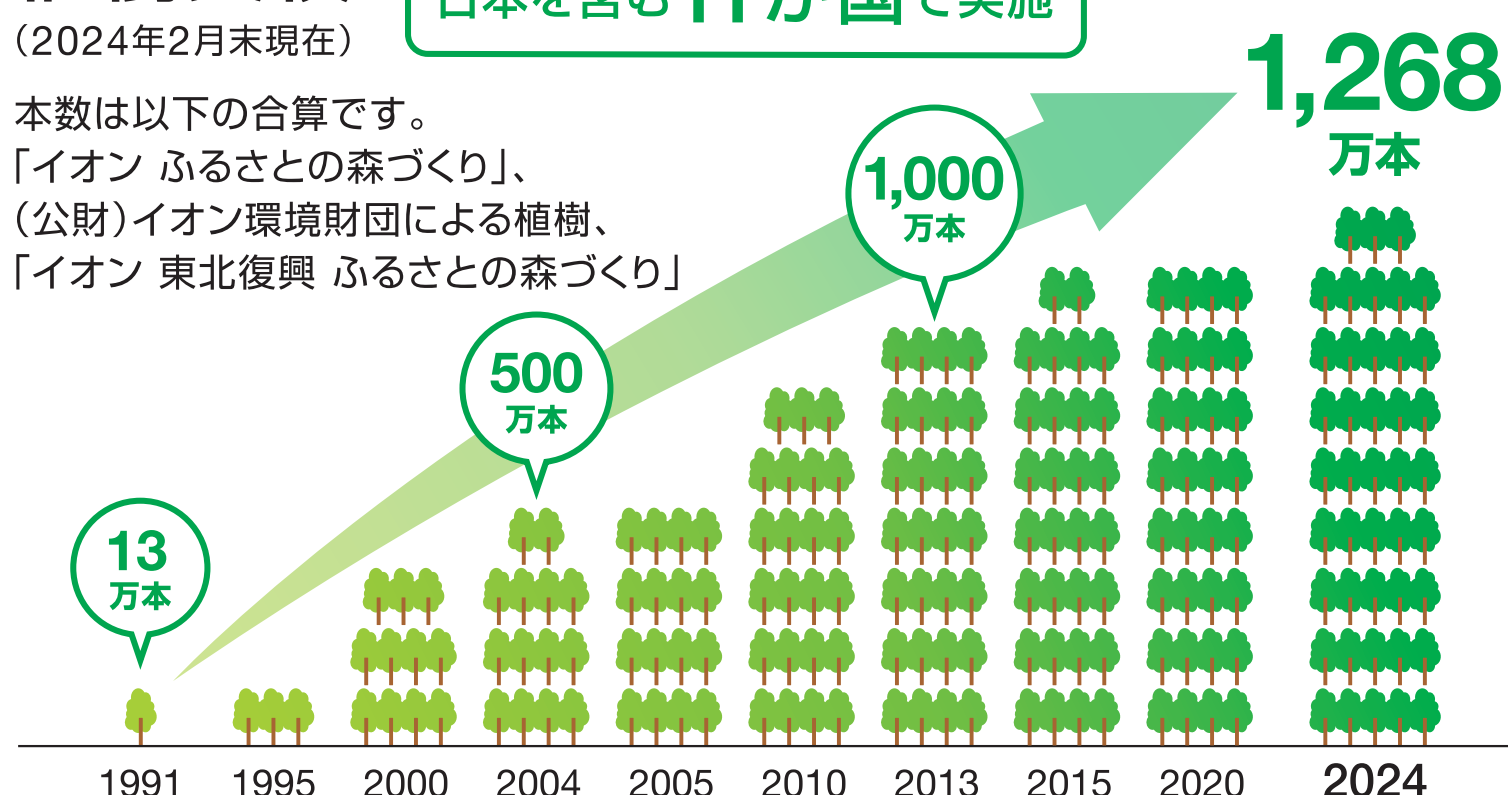
植樹実績

(2024年2月末現在)

日本を含む11か国で実施

本数は以下の合算です。

「イオン ふるさとの森づくり」、
(公財)イオン環境財団による植樹、
「イオン 東北復興 ふるさとの森づくり」



<https://www.aeon.info/>